

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座V(こころとからだのしくみと生活支援技術) care staff beginner's training lecture V						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟2階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1,DP2						
授業の概要と到達目標	<p>〈概要〉 「介護職員初任者研修講座V」では、介護職員初任者研修課程における「こころとからだのしくみと生活支援技術」の整容、入浴、身体の清潔、睡眠について学習する。介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識をもとに、整容や入浴・身体の清潔保持、睡眠の意義、および安全な介護サービスの提供方法について学ぶ。また、利用者の自立および自律に向けた支援のための基本技術を習得する。さらに、高齢者や障害児者を対象とするレクリエーションの視点について、体験を通し学習する。</p> <p>〈到達目標〉 ①整容や入浴、身体の清潔保持、睡眠の意味について説明できるようにする。 ②入浴の際の環境整備のポイントおよび入浴に関連した用具を列挙できるようにする。 ③衣服着脱や入浴、清拭などの援助における方法および留意点について、説明できるようにする。 ④睡眠の際の環境整備の要点や睡眠に関連した用具を列挙でき、安眠のための介護の工夫について説明できるようにする。 ⑤レクリエーションの意義が説明でき、高齢者、障害児者を対象とするレクリエーションの視点を列挙できるようにする。</p>						
授業の方法	演習が主となる授業である。衣服着脱や清潔保持の具体的な援助については、教員のデモンストレーションの後、グループで演習する。利用者役と介護者役の両方を体験し、そこから援助の留意点について考える授業とする。また、グループディスカッションを行い、援助の方法や留意点等について考える。レクリエーション技術についても、体験を通して学習する。						
学習成果	L01	整容や身体の清潔保持の意味をふまえ、利用者の状態に応じて、整容や入浴等に関する福祉用具を選択し、利用者の自立やプライバシーに配慮しながら、基本手順に沿った整容や衣服着脱および清潔保持の援助を行うことができる。					
	L02	睡眠の意義をふまえ、安眠のための介護の工夫や環境整備をすることができる。レクリエーションの意義をふまえ、高齢者や障害者に対するレクリエーション技術を習得することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト 2巻「自立に向けた介護の実際」 中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	<p>●講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算13年)</p> <p>●特に高齢者介護の多様な経験を、利用者の清潔保持の支援技術の演習や、レクリエーションの実施時に活用する。</p>						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準					学習成果の割合	

		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、演習では身だしなみを整え、技術向上に努めること。他者の意見を聴き、自分の意見を述べること。	30			
レポート/作品	①:衣服の着脱介助と②:清拭について、演習の振り返りレポートを課す。S 評価のレポートは、利用者役および介護者役を体験しての感想のみでなく、学びと留意点が具体的に記述されていること。	20			
発表					
小テスト					
試験	整容の基礎知識・衣服着脱の介助・清潔保持の方法 清潔保持の基礎知識・清潔保持介助の方法・睡眠に関する理解ができています。		50		
その他					
合 計		50	50		
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 整容に関する基礎知識、福祉用具の活用 【講義】			
	事前・事後学習	家族の爪切りを行い、介助した感想を記入する			
2	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助① 座位での着脱介助 【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP44～P45 を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
3	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助② ベッド上臥位での着脱介助 【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP48～P49 を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
4	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助③ 福祉用具の活用 【演習】 (レポート① 提出:第5回目)			
	事前・事後学習	衣服着脱介助の振り返りレポートを記入する			
5	授業内容	入浴や清潔保持に関する基礎知識、福祉用具の活用 【講義】			
	事前・事後学習	入浴に関する危険な場面や、事故が想定される場合を列挙する			
6	授業内容	入浴介護の実際 家庭浴、リフト浴、特浴 【演習】			
	事前・事後学習	自身の入浴に対するこだわりを例示する			
7	授業内容	身体の清潔保持の方法と留意点 【講義】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP74～P77 を読んで、介助の際の留意点を列挙する			
8	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助① 清拭 【演習】 (レポート② 提出:第9回目)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP157、P158 を記入する			
9	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助② 部分浴 【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP68～P73 を読んで、介助の際の留意点を列挙する			
10	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助③ 口腔ケア、ベッド上での洗髪 【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP78～P83 を読んで、介助の際の留意点を列挙する			
11	授業内容	睡眠に関する基礎知識 【講義】			
	事前・事後学習	睡眠日誌を1週間分つける			
12	授業内容	睡眠障害の種類と原因 【グループワークと発表】			
	事前・事後学習	テキスト 2 P269～P273 を読んで、睡眠障害についてまとめる			
13	授業内容	安眠への援助 【グループワークと発表】			
	事前・事後学習	安眠の条件を列挙する			
14	授業内容	レクリエーションの意義と方法 【講義】			
	事前・事後学習	自分にとっての楽しみについてまとめる			

15	授業内容	レクリエーション活動の実際②【演習】
	事前・事後学習	高齢者にとっての楽しみについてまとめる